

## 再 評 価 調 書

I 事業概要						
事業名	砂防等事業（緊急急傾斜地崩壊対策事業）					
地区名	にしよしだちようくいき 西吉田町区域					
事業箇所	せとにしよしだちようちない 瀬戸市西吉田町地内					
事業のあらまし	当該区域は、人家12戸を有するがけ高9m、勾配40°の急傾斜地である。がけ崩れの危険性の高い区域であり、人命を守るために早急な防災対策が必要な箇所であった。そのため、2014年度より事業に着手した。					
事業目標	<b>【達成（主要）目標】</b> ・人家12戸を急傾斜地の崩壊による土砂災害から保全する。 <b>【副次目標】</b> ・なし。					
計画変更の推移		事業採択時 (2014年度)	再評価時（1回目） (2020年度)	再評価時（2回目） (2025年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2014～2018	2014～2025	2014～2030	・地元調整の難航	
	事業費（億円）	2.0	2.0	2.6	・事業費の精査による変動	
	経費内訳	工事費	1.5	1.0	2.1	・事業費の精査による変動
		用補費	0.0	0.0	0.0	
		その他	0.5	0.5	0.5	
事業内容	法面工 L=200m	法面工 L=200m	法面工 L=200m			
II 評価						
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<b>【事前評価時の状況】</b> ・人家12戸を急傾斜地の崩壊による土砂災害から保全する必要がある。 <b>【再評価時の状況】</b> ・保全対象等に変化はない。 <b>【変動要因の分析】</b> ・なし				
	判定	B	A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。			
		<b>【理由】</b>	・事業着手時から必要性に変化はないため。			

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2014</th> <th>~</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査設計</td> <td colspan="2">←</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td colspan="2">←</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・法面工</td> <td colspan="2">←</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>前回計画</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td>0.3</td> <td>2.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>達成率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td>50</td> <td>0.2</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>2.0</td> <td>1.3</td> <td>65</td> <td>2.6</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>1.5</td> <td>0.8</td> <td>53</td> <td>2.1</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>100</td> <td>0.5</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】 ・法面工 L=100m</p>			2014	~	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	合計	工種区分	調査設計	←															工事	←															・法面工	←															事業費(億円)	前回計画	0.6				1.2				0.2						2.0	実績	0.6				0.7										1.3	今回計画	0.6				0.7						1.0			0.3	2.6		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】	延長(km)	0.2	0.1	50	0.2	50	事業費(億円)	2.0	1.3	65	2.6	50	工事費	1.5	0.8	53	2.1	38	その他	0.5	0.5	100	0.5	100
			2014	~	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	合計																																																																																																																																							
	工種区分	調査設計	←																																																																																																																																																					
		工事	←																																																																																																																																																					
		・法面工	←																																																																																																																																																					
	事業費(億円)	前回計画	0.6				1.2				0.2						2.0																																																																																																																																							
		実績	0.6				0.7										1.3																																																																																																																																							
		今回計画	0.6				0.7						1.0			0.3	2.6																																																																																																																																							
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																																																			
		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】																																																																																																																																																		
延長(km)	0.2	0.1	50	0.2	50																																																																																																																																																			
事業費(億円)	2.0	1.3	65	2.6	50																																																																																																																																																			
工事費	1.5	0.8	53	2.1	38																																																																																																																																																			
その他	0.5	0.5	100	0.5	100																																																																																																																																																			
2) 未着手又は長期化の理由	・住民から理解を得られるよう施工計画を見直した結果、施工に年月を要したため。																																																																																																																																																							
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元調整の難航。</li> </ul> <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見直した施工計画を住民に説明することにより理解を得て、事業を進めていく。</li> </ul>																																																																																																																																																							
判定	<p><b>B</b></p> <p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。  B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>○これまで事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul> <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】 今後地元の意向に配慮して事業を進めることにより、計画通りの完成が見込まれるため。</p>																																																																																																																																																							
III 対応方針																																																																																																																																																								
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。  継続：上記以外のもの。</p>																																																																																																																																																							
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																																																																																																																																																								
<p>■対象（事業完了後 年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】  該当なし</p> <p>【主な評価内容】  ・急傾斜地崩壊防止施設と保全対象の状況から、事業効果を確認する。</p>																																																																																																																																																								